


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立大江戸高等学校 定時制課程			進路	実績	績大	35%	短期大	0%	専門学校	33%	就職	14%	その他	18%	
	個々のチャレンジを最大限に生かして育てます			特徴 キャリア教育を重視し、1・2年次では毎年体験学習を行う。 主な部活動 卓球部、剣道部 全国大会出場 学校評価 生徒:授業理解度 81.2%、授業満足度 83.5%、入学満足度 76% 保護者入学満足度 89.9%												
基	所在地	〒135-0015 江東区千石三丁目2番11号		電話番号	03-5606-9500											
	アクセス	(1) 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「住吉」下車 徒歩13分 (2) 東京メトロ東西線「東陽町」下車 徒歩13分 (3) JR総武線「錦糸町」下車 都バス東陽町行(約10分)千田下車														
本	学 科	総合学科														
	在 籍 数	555人(男子262人・女子293人)														
情	教育課程の特徴	三部制・単位制、三学期制、「情報・ビジネス系列」「伝統・文化系列」「生活・福祉系列」を設置し、100講座を超える自由選択科目を用意。														
	ホームページ	http://oedo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 31年度(単位:万円)	2,428											
報	その他	「都立高等学校等への特別支援教育 心理士巡回相談事業」実施校		校 服	制服	男子・ブレザー(グレー) 女子・ブレザー(グレー)										
	入 学 者 選 抜 情 報	募集人員	1学年相当180人、2学年相当15人(いずれも男女問わず)													
		分割前期	1部～3部	募集区分	29年度	30年度	31年度									
				1学年相当	2.16	1.66	1.26									
				2学年相当以上	0.40	0.33	0.07									
		分割後期	1部～3部													
		その他特徴	入試の特徴:調査書不要、学科試験なし、志願申告書・作文・面接													
		主な学校行事	体育祭(6月)、文化祭(11月)、研修旅行(1月)													

目指す学校 **「誰でもいつでも学べる学校」、「自分にチャレンジする学校」、「地域に支えられ育てられる学校」**

今年度の重点目標 今年度の取組と自己評価

目 標	基礎基本の定着を図り、主体的に学ぶ力の育成 ① 学力向上委員会及び進学対策委員会を計画的に実施することで授業改善を図り、組織的・計画的な指導体制を確立し、習熟度に応じた学力向上を図る。 ② 教科マネジメントを定着させ、「主体的・対話的で深い学び」を研究・実践する。学習へ向けた指導を充実し、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。 ③ 授業力向上のための校内外の研修を充実させるとともに、多面的な評価方法を研究・研修・実践し、生徒の学習意欲を高める。	① 毎学期学力向上委員会及び進学対策委員会を実施し、外部学力テストの結果を分析して習熟度に応じた夏期講習を28講座開講して365人が参加、成績上位者2人には特に土曜講習(かもめ塾)を実施した。 ② 年度当初に各教科においてこれまでの指導を踏まえた学カスタンダードを作成して基礎的・基本的学力定着のための指導方法を検討し、学力向上研究校として外部講師による学習支援を夏季休業中も含め週2回実施した。 ③ 将来のグランドデザインを念頭に各教科において観点別評価の検討を深めるとともに、生徒の学習意欲を高めるための研修として教員延べ54人が相互授業見学に取り組み、異なる教科のコラボ授業を3回実施した。
目 標	基本的生活習慣の確立と規範意識の育成 ① 授業規律の維持に努め、挨拶の励行と時間厳守意識を醸成する。 ② 全教職員の共通理解による、遅刻防止・頭髮・服装等の生活指導及び社会・学校生活を送る上でのルールやマナーの厳守とSNSルールの徹底を図る。 ③ 教育支援委員会を中心に自立支援チームや外部支援と連携し、中途退学や不登校を未然防止し、生徒の自立につなげる。 ④ 1年次は二名担任、他年次は担任と副担任が連携して多面的な生徒支援を行う。	① 教員延べ54人が取り組んだ授業見学等を通して授業規律確立のための意識醸成を図った。生徒会役員による登校時の挨拶運動を年2回実施し、挨拶励行の意識醸成に向けた指導に取り組んだ。 ② 年7回行う始終業式等の儀式的行事における頭髮・服装指導を通して全生徒に規律遵守の意識醸成に向けた指導に取り組む、本校のSNSルールを年7回実施する学年集会等で繰り返し指導した。 ③ 教育支援委員会を年25回、YSW・SCの相談を84人の生徒・保護者に対して行い、児童相談所・子ども家庭支援センターを招いてのケース会議を13回実施するなど、きめ細やかな支援が必要な生徒の早期発見と解決に向けた取組を実施した。 ④ 1年次の二名担任と他年次の担任副担任による連携を深めて年2回の三者面談を実施する等、個々の生徒に対応した指導を実施した。
目 標	キャリア教育の充実を図り、自己理解と将来設計の育成 ① 「チャレンジ指定科目」の指導法を常に検討・改善するとともに、自己理解と将来設計の活動を重視し、計画的・系統的なキャリア教育を実施する。 ② ハローワーク、サポートステーション等の地域機関と連携を深め、進路指導を充実させる。また、各種資格取得を推奨する。 ③ 特別な支援を必要とする生徒への進路指導の充実と進路実現を図る。 ④ 進路指導部、各年次、教育支援委員会等が連携して進路未決定者を減らす。	① チャレンジ指定科目1年次体験学習では42カ所、2年次インターンシップでは46カ所のそれぞれの事業所において、2日間の実習を行い生徒の自己理解と将来設計を深めさせる指導を行った。 ② ハローワークと連携した指導により7名の就職が実現した。また、英語検定・漢字検定・簿記等の外部資格を年11種類147人の生徒が取得した。 ③ YSWやハローワークとの連携による特別な支援を必要とする生徒の就職希望者はいなかった。 ④ 年次・進路指導部・教育支援委員会の連携により、進路未決定者数は昨年度と同数の19名であった。

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容							28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標	
	目標①	単位履修率(%) [=履修単位/登録単位]						85	74	80	72	75	76	78	72	80	85	85
	目標②	進路決定率(%)						80	80	80	76	80	82	85	79	90	90	90
目標③	部活動加入率(%)						70	66	70	50	70	48	70	49	70	70	70	